

国師ヶ岳～甲武信ヶ岳

M・S

期 日：2018年7月22日（日）～23日（月） 晴れ

コース：（22日）大弛峠 10:11—国師ヶ岳 11:24—国師のタル 13:54—東梓 14:54  
富士見 16:58—源流分岐 18:12—甲武信ヶ岳—甲武信小屋 19:21  
（23日）甲武信小屋 5:49—甲武信ヶ岳山頂 6:11—千曲川源流指標 6:59—  
ナメ滝 8:22—毛木平 10:17

参加者：6名

甲府駅からジャンボタクシーで大弛峠に着き、ここから登山開始。



大弛峠の広い駐車場



夢の庭園の階段をひたすら登り前国師、そして国師ヶ岳に到着。ここで昼食とする。雲が広がっていて遠望がきかない。



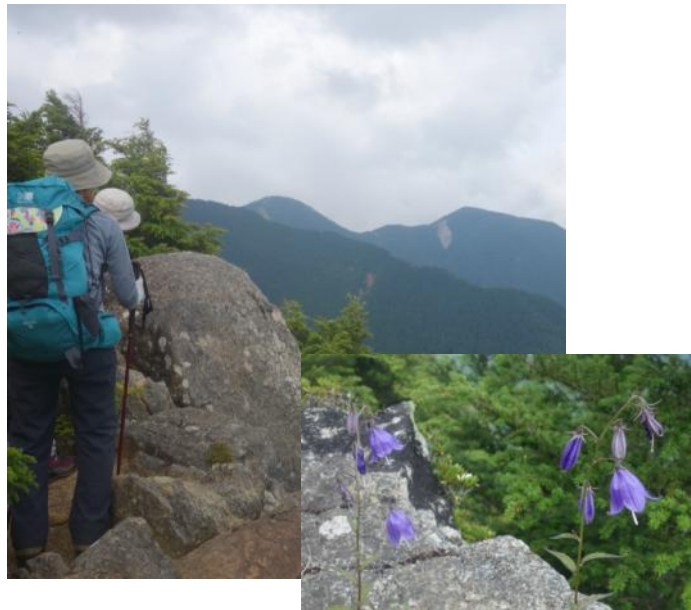
シクナゲに囲まれた道を行くが、花は散っていて残念。バイケイソウの花が見事だ。

シラビソノの樹林帯は倒木が多く歩きにくい。

標高差450m以上を延々下ってようやく国師のタルに着く。まだ1/3しか進んでいない。



ここから 350m の登り返しの始まり。倒木が多い中、アップダウンを繰り返し黙々と歩く。東梓に着く頃は予定時間を 1 時間半過ぎていた。見晴らしの良い両門の頭からは甲武信ヶ岳がまだ遠くに見えた。



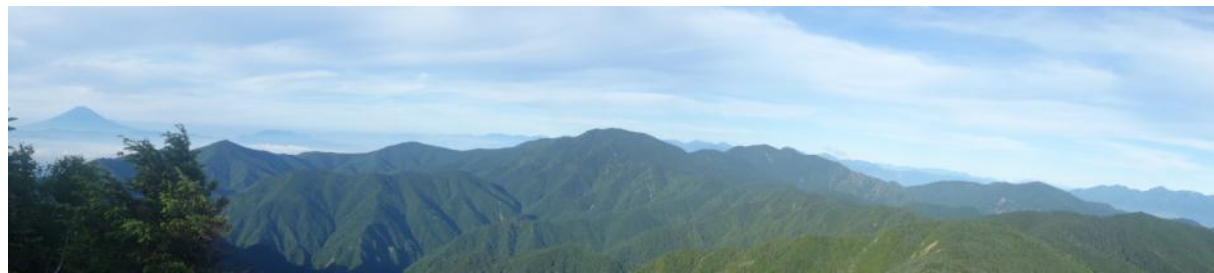
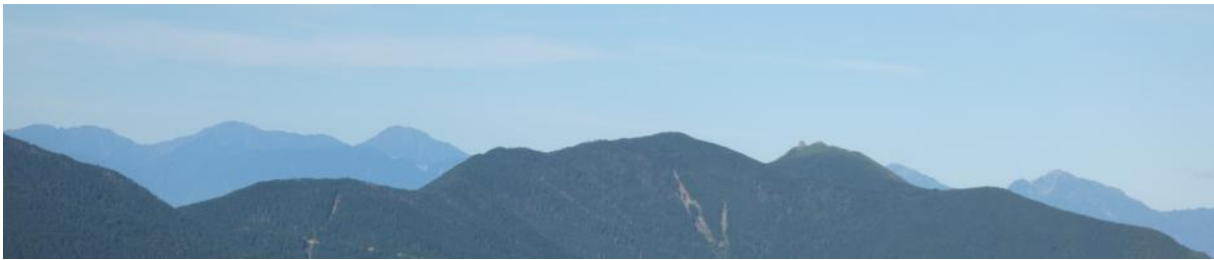
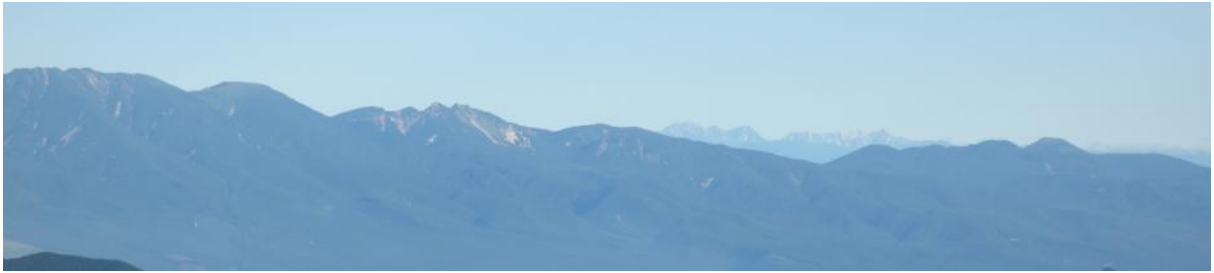
富士見に着いたのが 16:58。まだまだ明るいがライトの準備をした。源流分岐に着いたときみんなに安堵の笑顔が見えた。最後の辛い登りを頑張って甲武信ヶ岳山頂に着いた。



山頂ではまだ明るかったが点灯して下った。小屋着 19:21。20 時消灯なので〇〇さん持参の白ワイン で乾杯、カレーを飲み込むように食べた。



二日目は 5:49 出発。良く晴れて登り途中から大きな富士山が見えた。  
山頂からは浅間山、ハケ岳、その奥に北アルプスの槍穂、金峰山の奥に南アルプス甲斐駒  
北岳、間ノ岳と素晴らしいパノラマを望むことが出来た。昨日の疲れも吹っ飛んでしまう。



源泉は甘露甘露



山頂からはほとんどが下りだ。

苔むした岩を眺め、千曲川源流に沿った道を緑に染まりながら歩き、甘い源泉を味わった。  
メ滝のしぶきが暑さを忘れさせてくれた。毛木平からタクシーで信濃川上駅に向かった。



予定より早く到着。

毛木平は電波が届かないので、東屋にて  
1時間余りタクシーを待った。

